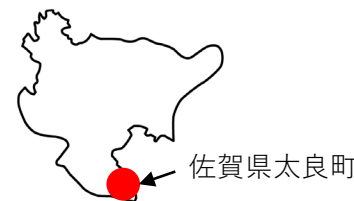


地域で新規就農者を育てよう！生産部会との連携による研修体制の構築

- 地域のいちご生産者数が減少する中、産地の今後について生産部会と協議した結果、「地域で新規就農者を育てよう」という合意形成がなされ、研修施設整備に取り組むこととなった。
- 先進的な設備を備えた研修施設で、地域のいちご生産者と連携しながら、実践的な研修を実施することにより、多様な新規就農者を確保するとともに、即戦力となる新規就農者を持続的に排出することで、産地の活性化を図る。

【位置図】



佐賀県太良町

取組前

- みどり地区トレーニングファーム(きゅうり、とまと)による新規就農者確保の実績(H29開校～R5の修了生27人)がある中、みどり地区いちご部会から研修施設整備に取り組みたいとの声があがった。
- 研修生が農業経営者として育つには、農業の基礎知識を学ぶ座学及び実習ができる研修施設が必要。
- 新規参入者の地域と農業への定着のためには、研修段階から地域と関わるのが重要。

取組内容

- R6年度に、研修施設整備
 - ・本圃ハウス(912㎡)
 - 高設栽培システム、環境制御装置、防除機器
 - ・育苗施設(342㎡)
 - 底面給水システム
 - ・出荷調整施設、保冷・貯蔵施設等
- トレーナーからの技術実習に加え、関係機関による座学研修の支援。いちご栽培の基礎知識の講義や経営記帳の実践研修等を実施。(R7:31コマの座学実施)
- 研修時から部会の研修会へ参加。仲間づくりを支援。

取組後(成果)

- 研修生1期生 1組2名
 - 令和7年5月1日入校
 - 令和8年9月1日から経営開始予定。
- いちご部会(トレーナーを含む)と関係機関が連携した研修体系が構築された。
- トレーナーからの相談がきっかけで、県内ミニトレーニングファームのトレーナーが集まり情報交換会が開催され、横のつながりができた。

【サポート体制】

みどり地区トレーニングファーム 運営協議会

研修生の募集

